

# 子供と教師が共に高め合う授業を目指して

副校長 齊 藤 誠

新たな年を迎え、令和3年度を締めくくる学期がスタートしました。附属旭川小学校職員一同、子供たちのため、気持ちを一つにし、教育と研究を推し進めてまいります。保護者の皆様には変わらぬ御支援を賜りたくお願い申し上げます。



さて、GIGAスクール、学びのDX、令和の日本型学校教育など、様々な言葉で今の時代に必要な学校教育について語られることがあります。附属小学校は、新しい教育の在り方を求めて先導的な教育研究実践を行うこと、教育界の発展に寄与することを使命の一つとしているため、今求められる新しい教育の姿を授業として具現化し、子供の成長した姿を通して全国の学校に発信することが必要となります。そのため、教員も、全員でよりよい授業の在り方を追究する校内研究授業のほか、放課後や休日、冬休み中などの時間を利用して様々な研修会に参加しています。



校内研究は、10月から3月にかけて、国語や算数、道徳やチャレンジ学習など13本の授業について、授業前の研究協議を複数回、研究授業、授業後の研究協議という流れで実施しています。研究授業に向けて、授業をする教員は、子供たちが意欲をもち主体的に探究できる授業を求めて最適と思える方法を工夫します。しかし、授業後の研究協議では、「どうしてそのような課題にしたのか」「なぜ、〇〇さんのよい発言を取り上げなかったのか」「もっと〇〇すれば、ICTを有効に活用できたのではないかなど、遠慮のない意見が飛び交い、気付かなかった改善点に気付かされます。このような研修を通して、目の

前の子供たちの学力を高め、「早く続きの学習をしたい」という声が聞こえてくるような授業をするために、どのような工夫をしたらよいか、全員で学んでいます。



冬休みには、各教科ごとに開催されるオンライン研修会や市内の教員が集まり授業づくりについて学び合う研修会、著作権等の法令について学ぶ研修会に参加したり、逆に本校の教員が講師となって「GIGAスクール研修会」を実施したりするなど、教員の資質・能力を向上させる取組を進めています。

本日から始まった3学期の授業は、教員がこれまで高めてきた授業力を全て発揮して子供たちと向き合い、子供と教師が共に高め合う創造的な時間となります。また、子供たちにとっても、1・2学期ではできなかったことができるようになり、自信を高めていく大切な時期となります。保護者の皆様におかれましても、お子様の頑張りを見取り、肯定的な言葉を掛けていただきますとともに、本校の教員を引き続き支えてくださいますよう、よろしくお願いいたします。

